

週報

2026 日 1 月 18 日

主日礼拝



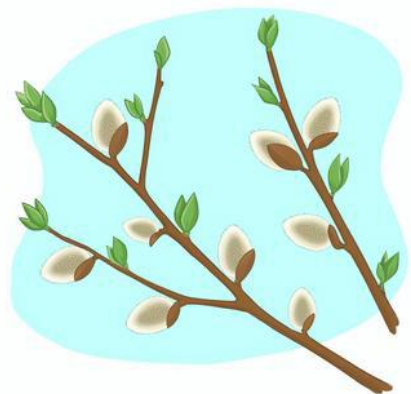
〈聖書のみことば〉

詩篇113篇3節

「日の昇るところから沈むところまで
主の御名がほめたたえられるように。」

主日礼拝プログラム

- ・前 奏
- ・招 詞 申命記 31:6
- ・賛 美 LP158「インマヌエル麗しい御名」
LP74「御前に行き」
- ・祈 り
- ・月間賛美 みその SB よ-2「善き力に我囲まれ」
- ・信仰告白「使徒信条」
- ・賛 美 聖歌 498「うたいつつあゆまん」
- ・聖書朗読 ローマ 8:35～39
- ・宣 教 「希望」
丸山牧師
- ・応答賛美 聖歌 651「主がわたしの手を」
- ・感謝献金 LP74「御前に行き」
讃美歌 547「今ささぐる」
- ・頌 栄 讃美歌 542
- ・祝 祷
- ・報 告



【説教要旨】「希望」（ローマ 8：35—39）丸山悟司牧師

希望は、私たちを前に進ませる動力となります。私たちを造られ、愛される神の生けるみことばは、私たちに希望をもたらすものです。きょうは、ローマ人への手紙 8章35-39節の使徒パウロののことばから、希望のメッセージを汲み取っていきたいと思います。

① 勝利してなお余りがある

「だれが、私たちをキリストの愛から引き離すのですか」（35 節）の問いかけに、パウロは 37 節で応答しますが、その間の 35 節後半から 36 節で、ややもすると信仰者をキリストの愛から引き離しかねない負の要素、苦難、苦悩、迫害…に言及します。さらに、詩篇 44：22 のことばを引用して、旧約時代の聖徒たちもまた、同じように苦難にさらされた事実を訴えます。その上で、希望のメッセージを 37 節に織り込み、そのような状況下にあってもなお「私たちは圧倒的な勝利者です」と語ります。岩波の新約聖書翻訳委員会訳では「これらすべてにおいて勝利してなお余りがある」と訳出されています。

② 神の愛から引き離すものはない

38 節でパウロは使徒としての権威を持って「私はこう確信しています」と語り、次の 39 節では、なにものも「私たちの主キリスト・イエスのある神の愛から、私たちを引き離すことはできません」と断じます。それほどに、神がキリストにおいて示された愛は強力であるということです。引き離すことのできないもののリストの筆頭に挙げられているのが「死」です。死であっても神の愛から私たちを引き離すことはできない。それは、死のトゲは十字架によってすでに抜かれており、信仰者にとって死は決してすべての終わりではなく、地獄への階段でもなく、天の御国へと通じる門であり、私たちを愛される方のおられるところへ導くものだからです。ここに私たちの大きな希望があります。

<報告と案内>

- ★今週 22 日(木)11 時より 1 月の「証し会」が 3 階にて行われます。
- ★本日午後 1 時 15 分より「拡大委員会」が行われます。
- ★24 日(土)午後 4 時～7 時、連合青年宣教部主催の「若手社会人祈祷会」第一回目が、清瀬バプテスト教会を会場に行われます(対象:18 歳から 30 代前半までの社会人)。
- ★次週 25 日(日)14 時 30 分より、「第 20 回相模原キリスト一致祈祷会」が聖教団相模原キリスト教会にて行われます。
- ★本日崔宣教師夫妻は、三郷シャロームの礼拝にて奉仕です。
- ★2 月 21 日(土)14:00「サムエル・ソング ライブコンサート」が当教会地下ホールを会場に開催されます。チケット(1500円)ご購入の方は木下姉までお求めください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

〈次週の主日礼拝〉 2026年 1 月 25 日 9 時礼拝・11 時礼拝

説教者:丸山悟司牧師

聖書箇所:ピリピ 4:14～23

応答賛美:みその SB あー 11「あなたは」

*今週の「早天祈り会」聖書通読箇所:詩篇 72 篇～78篇

宗教法人/日本バプテスト教会連合



御園バプテスト教会

牧師:丸山悟司

住所:〒252-0321 神奈川県相模原市南区相模台 2-3-7

電話番号:042-766-0805